



2025年12月22日
第100号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本

発行人 梶田 優一
編集 情宣 担当
ホームページ



<http://www.jreu-yokohama1.jp/>

横地申
第5号

「横浜線ワンマン運転について」に関する基本申し入れ (その1・運車)【全26項目】団体交渉を行う! ④

9. ワンマン運転に伴い、各駅の停車時分を10秒以上拡大すること。また、折り返し時間は案内設定等を考慮して7分以上で設定すること。なお、桜木町駅での折り返しについては作業が多いため8分以上で設定するか段下げ交代とし、段下げ交代とする場合は乗務員の待機場所を確保すること。

【会社回答】お客さまのご利用状況を踏まえた停車時分の調整や必要な作業時間を考慮し、列車ダイヤを検討している。なお、効率的な運用を勘案し、行路を作成していく考えである。また、現時点において、桜木町駅での待機場所を設置する計画はない。

組合	会社
各駅の停車時分は10秒以上拡大すること。特に、相模原駅上り場面ではTASC停通確認がある。	検討しているが、現時点で詳細は示せない。
折り返し時間は7分を基本とすること。特に、八王子駅では駅の構造によりエンド交換に時間を要する。	意見は承る。ワンマン運転を考慮した運転時分を検討する。
ワンマン運転を見据えた時分を設定するということか。	<u>現行のダイヤで時間が収まるかどうかである。</u>
桜木町駅では、さらに2番線側のドア開扉と閉扉作業が加わるため、8分以上で設定するか段下げ交代とすること。	引き続き注視しているが、現時点で示せない。意見は承り、検討していく。
東神奈川駅および八王子駅の折り返し場面で段下げ交代を行う考えはあるのか。	行路作成をしていく上で可能性はある。増減については明言できないが、個別で見えていくこととなる。

10. 桜木町駅中線到着時において、誤って3番線側を開扉しないよう対策を講じること。また、2番線側においてホームタイルや今後設置されるホームドアに対し、誤乗防止ステッカーを貼る等の対策を行うこと。

【会社回答】ワンマン運転の実施に向けた各種取り扱いについては、必要な教育・訓練を実施していく。また、必要な対策は実施していく。

組合	会社
現行でも誤乗や気付かずに乗り続ける折り返し乗車が多い。回答で「必要な対策は実施していく」と示されているが、何か対策は検討しているのか。	放送で伝えていくこととなる。
2番線側のホームタイルや今後設置されるホームドアに対し、ステッカー等で「2番線側から乗車できない」ことを明確に示せるようにすること。	組合側の意見は否定するものではないが、ホームドアには広告を貼ることもある。オフィスで検討して必要であれば、ステッカー等を貼ることは可能である。
2番線側を廃止して3番線側で乗降させることも可能と考えるがどうか。	承るが、この間のお客さまへのサービスがあるので検討が必要である。
TIMS画面において両側ドア開扉が可能になってしまう。対策は行わないのか。	<u>区所とコミュニケーションを図り、検討することとなる。</u>
3番線側を車掌スイッチで開扉することは検討しないのか。	区所とコミュニケーションを図りながら検討していきたい。

11. お知らせ放送機能において、「快速待避」および「各駅停車待ち合わせ」についての自動放送および繰り返し放送と待避および待ち合わせ駅を設定できるように改良すること。

【会社回答】現時点において、機能を改修する計画はない。

組合	会社
各駅停車における快速待避、快速における各駅停車待ち合わせの自動放送、繰り返し機能と待ち合わせ駅の設定ができるように改良できないのか。	大幅に改修しなければならず、現時点で改修する計画はない。
停車中の肉声放送も必要だが、大事なのは事前および到着前のご案内である。この認識はどうか。	南武線では快速待ち合わせ等に関するポスターを駅で作製して周知している。お客さまに事前にお伝えすることが重要である。
始発駅および待避中に繰り返し放送ができる機能を追加すること。	機能を追加はできると思うが、設定項目が増えてしまうので、慎重に見ていかなければならないと考えている。
下りの町田行電車において、現行は車掌が成瀬駅到着前に後続の八王子行は成瀬駅で乗り換えるように案内放送を実施しているが、この放送に関しては自動放送機能が追加されるのか。	<u>自動放送機能を追加する予定である。</u>

確認

次号⑤へ続く